

プログラミング基礎(Programming Fundamentals)

担当教員名	田中 誠一
学科, 科目詳細	機械工学科 2年 後期 専門科目 必修科目 1単位 講義
学習・教育目標	(D)(G)
科目的概要	コンピュータを用いた機械の制御、数値計算に関連した問題を扱うため、C言語によるプログラミングの基本事項の理解し基礎的な技術を身に着ける。
テキスト(参考文献)	授業開始時にテキストを配布する。
履修上の注意	1年情報基礎で学習したコンピュータの利用方法を復習しておくこと。積極的に情報メディアセンターを利用しプログラミングに慣れ親しむ姿勢が大切である。また課題の提出期限は厳守すること。
目標達成度(成績) の評価方法と基準	<p>合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課</p> <p>1) 演習課題の実施状況および提出(30%) 2) 定期試験の点数(70%) の合計により評価し、60%以上達成したものを合格とする。 演習課題は授業時間に与え基本的にその提出に対し評価を行う。 試験の設問、演習の詳細な評価基準は最初の講義の時に説明する。</p>
連絡先	s-tanaka@akashi.ac.jp

授業の計画・内容	
第1週	「プログラミングの基礎」プログラミングの基礎的な事項を理解し説明できる
第2週	「プログラムの作成と実行、数値データの処理1」作成・実行の手順を理解し操作できる
第3週	「数値データの処理2」定数と変数、データの型を理解しプログラムを作成できる
第4週	「数値演算関数、文字データの処理1」数値演算関数、文字データの処理を理解し説明できる
第5週	「数値演算関数、文字データの処理2」前週の学習内容をもとにプログラムを作成できる
第6週	「分岐処理1」比較演算による分岐処理を理解し説明できる
第7週	「分岐処理2」前週の学習内容をもとにプログラムを作成できる
第8週	中間試験
第9週	「繰り返し処理1」繰り返し処理を理解し説明できる
第10週	「繰り返し処理2」前週の学習内容をもとにプログラムを作成できる
第11週	「配列の利用1」1次元、2次元配列の利用方法を理解し説明できる
第12週	「配列の利用2」前週の学習内容をもとにプログラムを作成できる
第13週	「文字列の利用、プログラミングの工学的利用1」文字列、工学的利用方法を理解し説明できる
第14週	「文字列の利用、プログラミングの工学的利用2」前週の学習内容をもとにプログラムを作成できる
第15週	「総合演習」これまでの学習内容をもとに各自で目的を設定しプログラムを作成できる
期末試験	